

平成18年度
大雪・富良野ルート活動報告

- 0. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

0. 地域活動報告の概要

- ・地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵
-----------------	------------------------

種類	方針	方策	平成17年度の活動内容	総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	T - 1 ジェットコースターの路へのシニックデッキ設置	シニックデッキについては、継続に向けての交通問題の解決が必要となっており、検討を進める。景観形成活動のモデルとなる取り組みを今後も継続的に実施し、他地域への波及についても検討する。
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	T - 2 西神楽での廃屋撤去	
		ピューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする	T - 1 ジェットコースターの路へのシニックデッキ設置	
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	T - 3 深山峠での景観勉強会	
		田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	T - 4 各種オーナー性の実施	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	T - 1 深山峠での景観勉強会	地域で無理なく取り組める活動を検討し、活動を広げる。現在の活動に関しては、継続的に活動を行う。次年度以降も成功例を積み上げる。
		田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	T - 1 深山峠での景観勉強会	
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う	T - 5 JRと国道の間の除草活動	花の植栽活動や除草活動等の地域活動を積み上げ、広域での活動を目指す。また、各関係機関との連携を強め、継続的な活動に向けての検討を行う。
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	T - 6 各地での花の植栽活動	
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	T - 6 深山峠での景観勉強会	
		沿道の景観阻害要因に対しての修景計画の策定を行う	看板の撤去手法の検討	
		森林景観を保全するための活動計画の策定を行う		
地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	T - 7 有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルートがルートの運営組織となる	地域情報やイベント情報などの広報活動をさらに充実させる。また、パンフレットや情報拠点、コミュニティラジオなどのメディアミックスを検討し、さらに効果を上げる。
		ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	T - 8 情報拠点の設置及び運営	
		地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多様化を図る	ルートパンフレットの検討	
			T - 9 ウエブラジオの掲載	
		地域住民参加への活動を強化する	T - 10 ゴミゼロキャンペーンの実施	
			T - 11 フォトコンテストPR展	
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成		T - 12 ウィンターサーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	地域住民が参加しやすい活動や活動団体が連携しやすい活動をさらに広げ、活動を通して、多くの人に連携や参加意識の醸成を行う。また、ルート内部への広報も充実する。
		シニックの活動に対する地域連携意識を醸成する	T - 10 ゴミゼロキャンペーンの実施	
			T - 12 ウィンターサーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	
	各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める		ルートパンフレットの検討	
			T - 10 ゴミゼロキャンペーンの実施	
農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	T - 13 各地での農産物を使ったイベントの開催	商業や農業との連携をさらに推し進める。また、農業との連携を強化し、質の高い農産物をPRすることで、ルートの魅力向上へつなげる。また、ルート外へのPR活動も充実する。
		安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	T - 8 西神楽の情報拠点にて農産物の産直を実施	
		農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する		
		地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	T - 12 ウィンターサーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	
			ルートパンフレットの検討	
	多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う		T - 14 第3回 みち・沿道景観フォトコンテストを開催	
			T - 12 ウィンターサーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める		自然や文化、歴史の面でも活動の充実を図る。また、学校と連携を行った教育プログラムでの活動を継続し、成功例を積み上げる。
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する		
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る		
	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	T - 15 ウィンターサーカスと連携して、雪の授業・ワークショップを開催	情報拠点の利用者へのユニバーサルデザインの普及啓発を行い、さらなる展開を検討する。
		ユニバーサルデザインの推進	シニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う	

ルート名称:大雪・富良野ルート			報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	
種類	方針	方策	平成17年度の活動内容	総括
観光振興	ユニバーサルデザインの推進 田園型リラクゼーション観光の充実	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	T - 8 情報拠点シャングリラパークと菊地晴夫写真ギャラリーをリニューアルオープン	情報拠点の利用者へのユニバーサルデザインの普及啓発を行い、さらなる展開を検討する。
		田園型リラクゼーション観光を充実させる		
		もてなしのシニックバイウェイを充実させる	T - 8 情報拠点の設置及び運営	
			T - 16 ふらの・びえい人なるキャンペーンの開催	
		地域の来訪者との連携交流を充実させる	T - 8 情報拠点の設置及び運営	
			T - 13 各地での農産物を使ったイベントの開催	
			T - 16 ふらの・びえい人なるキャンペーンの開催	
	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	T - 1 深山峠での景観勉強会	
		地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	T - 8 西神楽の情報拠点にて農産物の産直を実施	地域農産物のブランド化を進め、付加価値をつける。また、農業と連携した新たな観光メニューの開発についても検討を行う。農地へはいる観光客等のマナーの向上を目指し、啓蒙活動を行う。
		ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	T - 7 有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルートがルートの運営組織となる	
観光振興	シニック・ランドオペレーション機能の充実	シニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	T - 8 情報拠点の設置及び運営	地域住民及び自治体へのシニックバイウェイPR活動を継続する。大雪・富良野ルートとしての広報活動の戦略を考え、今ルートで持っている広報ツールの活用を検討する。
		シニック情報中枢機能を充実させる	T - 7 有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルートがルートの運営組織となる	

大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-1

『シニックデッキの設置』

- 【内 容】 深山峠里仁地区の「ジェットコースターの路」にシニックデッキを設置。晴れた日には、十勝岳連峰と富良野盆地が一望でき、観光客及び地元住民から好評を得た。
- 【管 理】 深山峠観光開発振興会
- 【設置日】 平成18年5月～11月初め
※地元で交通問題が起きており、次年度は設置箇所を変更予定



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-2

『西神楽での廃屋の撤去』

- 【内 容】 西神楽地域の景観の保全を目的として、西神楽1線18号にあった、廃屋の撤去を実施。
- 【主 催】 NPO法人グラウンドワーク西神楽
- 【設置日】 平成18年5月27日～28日



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-3

『深山峠 景観勉強会』

【内 容】 「里仁地区景観づくり重点地区を考える」勉強会を里仁公民館で開催。第1部では、上富良野町役場の辻さんから、景観条例と景観重点地区について説明。第2部では、約20名の参加者を3班に分け、各班ごとに、里仁地区的景観資源や景観重点地区に伴うルールについての議論をした。

【主 催】 里仁住民会、里仁公民館

【参加者】 約20名

【設置日】 平成19年2月11日 11:00~14:00



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-4

『じゃがいも畑一坪オーナー・ラベンダーオーナー』

じゃがいも一坪オーナー

【主 催】 深山峠観光開発振興会

【開催日】 通年受付

ラベンダーオーナー

【主 催】 かみふらの十勝岳観光協会

【開催日】 通年受付



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-5

『JRと国道の間の除草活動』

【内 容】 景観の保全と農作物の害虫の発生を少しでも防ぐことを目的に、昨年から実施しているJRと国道の除草活動を、6月28日に実施。当日は、瑞穂市民委員会など様々な方が参加し約2キロ区間の除草活動を実施。。昨年は線路斜面を除草したが、今年はJRとの調整が難航し、線路斜面の除草は実施出来なかった。

【主 催】 NPO法人グランドワーク西神楽
【場 所】 西神楽 国道237号沿道 約2キロ
【実施日】 平成18年6月28日 9:00~16:00
【参加者】 約20人



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-6

『東川町 花植栽』

【内 容】 今年で2年目となった、沿道への花の植栽活動を実施。道の駅ひがしかわ「道草館」の周辺、約2キロの沿道及び花壇へ花を約1万2千株植栽。当日は、花のプロに指導してもらい、ブルーサルピヤやベコニアなどの花を沿道や花壇に植栽した。

【主 催】 東川町花俱楽部
【場 所】 道の駅ひがしかわ「道草館」の周辺
【実施日】 平成18年6月1日（木）13:00~15:00
【参加者】 約40人



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-6

『深山峠 花植栽』

【内 容】 今年で6年目になった、沿道への花植栽を今年もボランティアサポートプログラム制度（以後VSP）を利用して実施。今年度は「深山峠」と「フラノーブルマツオ前」と2地区に分かれVSPを利用。2地区に分かれることで花の植栽区間を増やすことができ、深山峠だけで1万2千株の花を沿道に植栽することが出来た。

【主 催】 深山峠観光開発振興会
【場 所】 トリックアート美術館前 駐車帯 等
【実施日】 平成18年6月4日(日) 8:00~10:00
【参加者】 約15人



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-7

『運営組織の変更』

ルート運営代表者会議

有限責任中間法人
シニックバイウェイ
大雪・富良野ルート

旭川・美瑛地区
(名称は検討中)

237花俱楽部

富良野俱楽部

活動団体連携プロジェクト

※有限責任中間法人は、平成18年3月31日に各活動団体からの出資により設立。シニックバイウェイの持続的な推進・普及・発展を実行・支援することを目的とする。

●ルート運営代表者の事務を掌握し、ルート運営活動計画を推進するため必要な企画調整を行う。
●ルート運営活動計画を推進する為必要な、委託や助成を受ける。

●地区的事務を管掌し、地区的活動に必要な企画・提案・調整を行う。
●地区で活動する上で必要なコーディネートを行う。
●地域の合意形成を取る。

活動の企画・提案や実施を行う。

大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-8

『シャングリラパーク』

【内 容】 昨年度、試験的に実施した西神楽の情報拠点をリニューアルして本格的にオープン。トイレスはユニバーサルデザインで誰もが使いやすく考えられ、ルートの情報提供と共に地元農業団体「西神楽 夢民村」の農産物も直売し、地元住民の憩いの場としても活用されている。

【運 営】 西神楽 夢民村

【場 所】 西神楽1線17号

【実施日】 平成18年10月14日～11月20日 9:00～17:00（火曜定休）



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-8

『菊地晴夫写真ギャラリー』

【内 容】 美瑛町 北西の丘にある、菊地晴夫氏のショップをリニューアル。ユニバーサルデザインを取り入れ、写真の配置や店内のキャブションなど制作・設置した。大雪・富良野ルートの情報拠点としても、観光パンフの設置やシーニックバイウェイに関するチラシの配布などを実施、多くの観光客に利用された。

【主 催】 NPO法人循環型社会立案サポートセンター

【実施日】 平成18年4月28日（金）～11月5日（日） 9:00～17:00（無休）



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-9

『ウェブラジオ掲載』

【内 容】 冬を楽しむ人達を取り上げ、地域の魅力や楽しみ方を、シニックバイウェイやイベントの絡めてコミュニティラジオで放送。放送内容は、ルートホームページにて、webラジオとしても掲載。
【主 催】 NPO法人グリーンステージ・ラジオふらの
【実施日】 平成19年3月より



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-10

『ゴミゼロキャンペーン』

【内 容】 4月28日～5月30日までをゴミゼロキャンペーンとして、各地で沿道の清掃活動を実施。関係行政機関から軍手やゴミ袋の提供・火ばさみの貸し出しなど協力をえて清掃活動を行った。
【主 催】 ルート運営代表者会議
【実施日】 平成18年4月23日(日) (東川) 主催：東川町花俱楽部
平成18年4月30日(日) (西神楽) 主催：グランドワーク西神楽
平成18年5月18日(木) (富良野) 主催：富良野ロータリークラブ
平成18年5月28日(日) (上富良野) 主催：237花俱楽部(旧花分科会)



大雪・富良野ルート

T-11

TAISETSU-FURANO ROUTE

『フォトコンテストPR展』

【内 容】 第3回 みち・沿道景観フォトコンテストのPRを兼ねて、美瑛町のホテルラブニールにてフォトコンテスト入選作品展を開催。
【主 催】 フォトコンテスト実行委員会
【場 所】 ホテル ラブニール
【実施日】 平成18年7月7日（金）～8月4日（金）



大雪・富良野ルート

T-12

TAISETSU-FURANO ROUTE

『ウィンターサーカス 2007 in 大雪・富良野ルート』

【内 容】 デザイナーがデザインした雪のランドアートを大雪・富良野ルートの各地に制作。イベント当日は、旭川駅発着の無料バスツアーや白銀荘への無料循環バスも実施し、多くの方が雪で出来たアートを楽しんだ。
【主 催】 ウィンターサーカス実行委員会
【場 所】 西神楽 情報拠点シャングリラパーク会場
深山峠 想い出のふらの会場
上富良野 見晴台公園会場
十勝岳 白銀荘会場
富良野 寒々村会場
【実施日】 平成19年2月17日（土）～2月18日（日） 17:00～20:00
※全会場、共通開催日



見晴台公園の作品

白銀荘会場の作品

想い出のふらの会場の作品

大雪・富良野ルート

T-13

TAISETSU-FURANO ROUTE

『とんとん祭り』

【内 容】 地場産品のPRと地域振興を目的とした、深山峠の「とんとん祭り」を今年度も9月16日(土)～18日(祝・月)まで開催。農産物の販売や上富良野の特産ぶたさがりが楽しめる焼肉コーナーなど、地元の味覚が楽しめるイベント。今年度は家族連れの方に楽しんで頂こうと、無料SL乗車など様々な企画を用意。

【主 催】 第12回とんとん祭り実行委員会

【後 援】 深山峠観光開発振興会

【場 所】 深山峠 思い出のふらの駐車場 特設会場

【実施日】 平成18年9月16日(土)～18日(祝・月) 10:00～16:00

【参加者】 約7000人



大雪・富良野ルート

T-13

TAISETSU-FURANO ROUTE

『秋の味覚市』

【内 容】 秋の恒例イベント「秋の味覚市」を今年度も開催。地元の名産品、産直販売、上富良野の特産品豚さがり焼き、さがり汁や地元食材を美味しい味わう「かみふらのカレー」などが楽しめる出店やもちまき大会、おしるこ無料サービス、ミニSLの無料試乗会など地元住民が楽しめるイベント。

【主 催】 上富良野町商工会商業部会・ほほえみカード会・リフレッシュマイタウンかみふらの（まちおこし活動グループ）

【場 所】 中央コミュニティ 広場

【実施日】 平成18年10月8日（日） 10:00～16:30

【参加者】 約700人



大雪・富良野ルート

T-14

TAISETSU-FURANO ROUTE

『第3回 みち・沿道景観フォトコンテストを開催』

【内 容】 大雪・富良野ルート内の写真を2つのテーマでフォトコンテストを開催。テーマ1は「みちのある風景・沿道の風景・祭事・スナップなど」、テーマ2は「残したくない風景、残念な風景など景観阻害風景」。応募総数451点（応募人数150人）

【団 体】 みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会

【実施日】 平成18年8月1日～10月31日 募集期間



雑誌に入選作品を発表

大雪・富良野ルート

T-15

TAISETSU-FURANO ROUTE

『ウィンターサーカスと連携して、雪のワークショップを開催』

【内 容】 ウィンターサーカス in 大雪・富良野ルート（雪のランドアート制作）と連携して、地域の子供向けの雪のワークショップを西神楽と上富良野で開催。西神楽では聖和小学校、上富良野では教育委員会と連携し全町の小学校から希望者を募った。

【団 体】 NPO法人グラウンドワーク西神楽・聖和小学校

上富良野町商工会商業部会・上富良野町教育委員会

【実施日】 西神楽 平成19年2月9日（金） 13:30～15:30

上富良野 平成19年2月17日（土） 13:00～17:00



大雪・富良野ルート

T-16

TAISETSU-FURANO ROUTE

『ふらの・びえい人になるキャンペーン』

【内 容】 冬の富良野・美瑛の魅力を感じてもらおうと企画された地元発信型の「ふらの・びえい人になるキャンペーン」。今年度は3年目となり、少しずつ認知度もあがってきた。ヘソタルマコンテストや参加施設で特別サービスを受けることが出来るパスポートの発行など行った。

【主 催】 新しい冬の美瑛・富良野観光を考える実行委員会

【実施日】 平成19年2月1日(水)～2月28日(火)



スキー祭りのようす



アイスバー

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2007/3/31
-----------------	------------------------	----------------

種類	方針	方策		平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	T - 1	ジェットコースターの路へのシニックデッキ設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外	認知度も上がり、多くの観光客が訪れるようになり、景観が良い場所での誘導が出来た。観光旅行者の駐車マナーなどの交通について、地域住民の間では問題が出てきている。	シニックデッキについては、継続に向けての交通問題の解決が必要となっており、検討を進める。景観形成活動のモデルとなる取り組みを今後も継続的に実施し、他地域への波及についても検討する。	
	大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	T - 2	西神楽での廃屋撤去	NPO法人グランドワーク西神楽	平成18年5月27日、28日	西神楽にはまだ多くの廃屋があるが、撤去する為の撤去費用の捻出や撤去の手法、所有者との調整等に課題がある。今回は廃屋撤去のモデルケースとなった。		
	ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする	T - 1	ジェットコースターの路へのシニックデッキ設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外	認知度も上がり、多くの観光客が訪れるようになり、景観が良い場所での誘導が出来た。観光旅行者の駐車マナーなどの交通について、地域住民の間では問題が出てきている。		
	大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	T - 3	深山峠での景観勉強会	深山峠観光開発振興会	平成19年2月11日 11:00～15:00	景観の保全・改善の為に地域住民が出来ることをワークショップ形式で検討。地域住民の意見をまとめて、自分が実施できるルールや活動をさらに検討し、地域住民に広げる。住民自らが地域の景観を考える機会となった。		
景観づくり	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	T - 4	各種オーナー性の実施	深山峠開発振興会 (社)かみふらの十勝岳混交協会	通年受付	深山峠「じゃがいいも一坪オーナー」「ラベンダーのオーナー」をそれぞれ、地域団体が実施。景観の保全と観光をつなげる取り組みとなった。	地域で無理なく取り組める活動を検討し、活動を広げる。現在の活動に関しては、継続的に活動を行う。次年度以降も成功例を積み上げる。	
	田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	T - 1	深山峠での景観勉強会	深山峠観光開発振興会	平成19年2月11日 11:00～15:00	景観の保全・改善の為に地域住民が出来ることをワークショップ形式で検討。地域住民の意見をまとめて、自分が実施できるルールや活動をさらに検討し、地域住民に広げる。住民自らが地域の景観を考える機会となった。		
	田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	T - 1	深山峠での景観勉強会	深山峠観光開発振興会	平成19年2月11日 11:00～15:00	景観の保全・改善の為に地域住民が出来ることをワークショップ形式で検討。地域住民の意見をまとめて、自分が実施できるルールや活動をさらに検討し、地域住民に広げる。住民自らが地域の景観を考える機会となった。		

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2007/3/31
-----------------	------------------------	----------------

種類	方針	方策		平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う	T - 5	JRと国道の間の除草活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年6月28日 9:00～16:00	地域住民と行政、JR北海道が連携し、JRと国道の間の除草活動を実施。当時は、約20名で2キロ区間の除草活動を実施した。今年度は、JR北海道との調整が難航し、JR側ののり面の除草が出来なかつた。来年度は、除草区間の拡大とJR側ののり面の除草を実施する。	花の植栽活動や除草活動等の地域活動を積み上げ、広域での活動を目指す。また、各関係機関との連携を強め、継続的な活動に向けての検討を行う。	
	沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	T - 6	各地での花の植栽活動	東川町花俱楽部 深山峠観光開発振興会 フラワーランドかみふらの 上富良野町商工会商業部会	6月中	東川町市街地、深山峠、上富良野フランゴープまつお前、上富良野町市街地に、地域の活動団体が花の植栽を実施。観光繁忙期における花の管理の問題や花の植栽に必要な苗の費用などの課題がある。		
	花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	T - 6	深山峠での景観勉強会	深山峠観光開発振興会	平成19年2月1日 11:00～15:00	景観の保全・改善の為に地域住民が出来ることをワークショップ形式で検討。地域住民の意見をまとめて、自分たちが実施できるルールや活動をさらに検討し、地域住民に広げる。住民自らが地域の景観を考える機会となつた。		
	沿道の景観阻害要因に対する修景計画の策定を行う		看板の撤去手法の検討	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	過去に看板撤去を実施してきた実績を踏まえて、撤去事例を整理。今後、他地域で撤去活動を実施する場合の参考となるように整理した。		
	森林景観を保全するための活動計画の策定を行う							
地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	T - 7	有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルートがルートの運営組織となる	有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルート	通年	平成18年4月21日に開催された、ルート運営代表者会議で運営組織の変更が承認され、中間法人がルートの運営を担うことになった。運営に必要な、必要経費の捻出が課題となつてゐる。	地域情報やイベント情報などの広報活動をさらに充実させる。また、パンフレットや情報拠点、コミュニティラジオなどのメディアミックスを検討し、さらに効果を上げる。
		ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	T - 8	情報拠点の設置及び運営	NPO法人グラウンドワーク西神楽 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 上富良野町商工会商業部会 富良野エコミュージアム	西神楽 平成18年10月 14日～11月11日 北西の丘 平成18年4月 28日～11月5日 その他、通年	情報拠点シャングリラパークと菊地晴夫写真ギャラリーがリニューアルオープン。その他、中茶屋やふらの広場についても、継続して実施。観光繁忙期には、パンフレットが不足していた箇所もあった。	
		地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多様化を図る		ルートパンフレットの検討	ルートパンフレット プロジェクトチーム	通年	各情報拠点などで配布する、ルートの統一されたパンフレットが無いために、プロジェクトチームで制作に向けて検討を行つた。平成19年のゴールデンウィークを目指して制作を行う予定。継続して発行する為の費用捻出が課題。	
		T - 9 ウェブラジオの掲載		NPO法人グリーンステージ ラジオふらの	2月下旬から掲載	平成19年の1月27日と2月の毎週金曜に放送した特別ラジオ番組をウェブラジオとして、ルートのホームページに掲載。継続的にウェブラジオと作成しており、地域のデータベースとなつた。		

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2007/3/31
-----------------	------------------------	----------------

種類	方針	方策		平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり 活力ある地域づくり コリドーとしての連携や参加意識の醸成	地域住民参加への活動を強化する	T - 10 T - 11 T - 12	ゴミゼロキャンペーンの実施 フォトコンテストPR展 ウインターラーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	ルート運営代表者会議 NPO法人循環型社会立案サポートセンター ウインターラーカス実行委員会	平成18年4月28日～5月30日 平成18年7月7日～8月4日 平成19年2月17日、18日 17:00～20:00	ルートとしてキャンペーン期間を設け、各地域の清掃活動を連携して実施。個々で活動していた清掃活動も、広がりのある活動となった。 夏の観光シーズンに美瑛のホテル ラブニールのロビーを借りて、平成17年度フォトコンテストの入選作品展と平成18年のフォトコンテストPRを実施。観光旅行者へ広報することが出来た。 冬の資源、雪を使ったランドアートを各地で実施。当日は無料バスツアーや会場での飲食の提供などを行い、一般住民向けの冬のイベントを開催。2日間で約300人程度が各会場の訪れた。継続的に実施するために費用について課題がある。	地域住民が参加しやすい活動や活動団体が連携しやすい活動をさらに広げ、活動を通して、多くの人に連携や参加意識の醸成を行う。また、ルート内部への広報も充実する。	
			ゴミゼロキャンペーンの実施 ウインターラーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	ルート運営代表者会議 ウインターラーカス実行委員会	平成18年4月28日～5月30日 平成19年2月17日、18日 17:00～20:00	ルートとしてキャンペーン期間を設け、各地域の清掃活動を連携して実施。個々で活動していた清掃活動も、広がりのある活動となった。 冬の資源、雪を使ったランドアートを各地で実施。当日は無料バスツアーや会場での飲食の提供などを行い、一般住民向けの冬のイベントを開催。2日間で約300人程度が各会場の訪れた。継続的に実施するために費用について課題がある。		
			ルートパンフレットの検討	ルートパンフレット プロジェクトチーム	通年	各情報拠点などで配布する、ルートの統一されたパンフレットが無いために、プロジェクトチームで制作に向けて検討を行った。平成19年のゴールデンウィークを目指して制作を行う予定。継続して発行する為の費用捻出が課題。		
	各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	T - 10	ゴミゼロキャンペーンの実施	ルート運営代表者会議	平成18年4月28日～5月30日	ルートとしてキャンペーン期間を設け、各地域の清掃活動を連携して実施。個々で活動していた清掃活動も、広がりのある活動となった。		

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2007/3/31
-----------------	------------------------	----------------

種類	方針	方策	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり 農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり 多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	T - 13	各地での農産物を使ったイベントの開催	西神楽 夢民村 深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会	夢民村の収穫感謝祭 平成18年11月11日 秋の味覚市 平成18年10月8日 秋のとんとんまつり 平成18年9月16日～18日	大雪・富良野ルートの特産でもある、農産物を使ったイベントを各地で開催。味覚市では、約700人、とんとん祭りでは約7000人の人が訪れ、地域の農産物や特産品などを楽しんだ。	商業や農業との連携をさらに推し進める。また、農業との連携を強化し、質の高い農産物をPRすることで、ルートの魅力向上へとつなげる。また、ルート外へのPR活動も充実する。
					平成18年10月14日～11月11日	西神楽でリニューアルオープンした、情報拠点にて夢民村で収穫された農産物の直売を実施。地元住民や道路利用者が直売を利用した。今後もより多くの人に利用してもらう場所とする為に、広報を充実させ、外装の改装についても検討。	
	農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する						
	地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	T - 12	ウインターラーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	ウインターラーカス実行委員会	平成19年2月17日、18日 17:00～20:00	冬の資源、雪を使ったランドアートを各地で実施。当日は無料バーストアーや会場での飲食の提供などを行い、一般住民向けの冬のイベントを開催。2日間で約300人程度が各会場の訪れた。継続的に実施するために費用について課題がある。	
			ルートパンフレットの検討	ルートパンフレット プロジェクトチーム	通年	各情報拠点などで配布する、ルートの統一されたパンフレットが無いために、プロジェクトチームで制作に向けて検討を行った。平成19年のゴールデンウィークを目指して制作を行う予定。継続して発行する為の費用捻出が課題。	
	多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	T - 14	第3回 みち・沿道景観フォトコンテストを開催	みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会	平成18年8月1日～10月31日 募集期間	「みちのある風景・沿道の風景・祭事・スナップなど」と「残たくない風景、残念な風景など景観阻害風景」で作品を募集。応募総数451点があり、昨年よりも応募作品の質があがった。昨年より、応募数と応募者数が減った。	
		T - 12	ウインターラーカス 2007 in 大雪・富良野ルートを実施	ウインターラーカス実行委員会	平成19年2月17日、18日 17:00～20:00	冬の資源、雪を使ったランドアートを各地で実施。当日は無料バーストアーや会場での飲食の提供などを行い、一般住民向けの冬のイベントを開催。2日間で約300人程度が各会場の訪れた。継続的に実施するために費用について課題がある。	

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2007/3/31
-----------------	------------------------	----------------

種類	方針	方策	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり 地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進		大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める					自然や文化、歴史の面でも活動の充実を図る。また、学校と連携を行った教育プログラムでの活動を継続し、成功例を積み上げる。
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する					
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る					
	T - 15	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	ウインターサーカスと連携して、雪の授業・ワークショップを開催	NPO法人グラウンドワーク西神楽 上富良野町商工会商業部会 (講師協力:北海道開発技術センター)	西神楽 平成19年2月9日 上富良野 平成19年2月17日	西神楽では、聖和小学校と連携し、放課後に授業を開催。雪と環境についてや雪の結晶を使った、アートワークを実施。 上富良野では、教育委員会と連携し、町内の小学校から希望者を募集。16名が当日参加した。 教育と連携する第一歩となつた。	
ユニバーサルデザインの推進		シニニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う					情報拠点の利用者へのユニバーサルデザインの普及啓発を行い、さらなる展開を検討する。
ユニバーサルデザインの推進	T - 8	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	情報拠点シャングリラパークと菊地晴夫写真ギャラリーをリニューアルオープン	NPO法人グラウンドワーク西神楽 NPO法人循環型社会立案サポートセンター	シャングリラパーク 平成18年10月14日～11月11日 菊地晴夫写真ギャラリー 平成18年4月28日～11月5日	シャングリラパークでは、ユニバーサルデザインのトイレを設置。菊地晴夫写真ギャラリーでは、風景写真の展示をユニバーサルデザインを取り入れて展示し、ユニバーサルデザインのカップの販売も行った。ユニバーサルデザインが具体的に体験出来る施設となつた。	情報拠点の利用者へのユニバーサルデザインの普及啓発を行い、さらなる展開を検討する。

ルート名称:大雪・富良野ルート			報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月:2007/3/31		
種類	方針	方策	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
観光振興 1	田園型リラクゼーション観光を充実させる もてなしのシニックバイウェイを充実させる	田園型リラクゼーション観光を充実させる						
		T - 8	情報拠点の設置及び運営	NPO法人グラウンドワーク西神樂 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 上富良野町商工会商業部会 富良野エコミュージアム	西神楽 平成18年10月14日～11月11日 北西の丘 平成18年4月28日～11月5日 その他、通年	情報拠点シャンギリラパークと菊地晴夫写真ギャラリーがリニューアルオープン。その他、中茶屋やふらの広場についても、継続して実施。観光繁忙期には、パンフレットが不足していた箇所もあった。	大雪・富良野ルートらしい、リラクゼーション観光の検討を進める。また、多様化した観光ニーズに合わせた、メニューの開発や広報活動を行う。	
		T - 16	ふらの・びえい人なるキャンペーンの開催	事務局 NPO法人グリーンステージ (主催:新しい美瑛富良野の冬の観光を考える実行委員会)	平成19年2月1日～2月28日	美瑛～占冠までの各エリアで、2月にキャンペーンを実施。各施設でサービスを受けることが出来る、パスポートも発行した。継続的に実施するためには、費用について課題がある。		
		T - 8	情報拠点の設置及び運営	NPO法人グラウンドワーク西神樂 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 上富良野町商工会商業部会 富良野エコミュージアム	西神楽 平成18年10月14日～11月11日 北西の丘 平成18年4月28日～11月5日 その他、通年	情報拠点シャンギリラパークと菊地晴夫写真ギャラリーがリニューアルオープン。その他、中茶屋やふらの広場についても、継続して実施。観光繁忙期には、パンフレットが不足していた箇所もあった。		
		T - 13	各地での農産物を使ったイベントの開催	西神楽 夢民村 深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会	夢民村の収穫感謝祭 平成18年11月11日 秋の味覚市 平成18年10月8日 秋のとんとんまつり 平成18年9月16日～18日	大雪・富良野ルートの特産でもある、農産物を使ったイベントを各地で開催。味覚市では、約700人、とんとん祭りでは約7000人の人が訪れ、地域の農産物や特産品などを楽しんだ。		
		T - 16	ふらの・びえい人なるキャンペーンの開催	事務局 NPO法人グリーンステージ (主催:新しい美瑛富良野の冬の観光を考える実行委員会)	平成19年2月1日～2月28日	美瑛～占冠までの各エリアで、2月にキャンペーンを実施。各施設でサービスを受けることが出来る、パスポートも発行した。継続的に実施するためには、費用について課題がある。		

ルート名称:大雪・富良野ルート			報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月:2007/3/31		
種類	方針	方策		平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
農業と連携した観光のしくみづくり	地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	来訪者と農業生産者をつなぐしきみを検討する	T - 1	深山峠での景観勉強会	深山峠観光開発振興会	平成19年2月11日 11:00～15:00	景観の保全・改善の為に地域住民が出来ることをワークショップ形式で検討。地域住民の意見をまとめて、自分が実施できるルールや活動をさらに検討し、地域住民に広げる。住民自らが地域の景観を考える機会となった。	地域農産物のブランド化を進め、付加価値をつける。また、農業と連携した新たな観光メニューの開発についても検討を行う。農地へはいる観光客等のマナーの向上を目指し、啓蒙活動を行う。
		T - 8 西神楽の情報拠点にて農産物の産直を実施	西神楽 夢民村	西神楽 夢民村	平成18年10月14日～11月11日	西神楽でリニューアルオープンした、情報拠点にて夢民村で収穫された農産物の直売を実施。地元住民や道路利用者が直売を利用した。今後もより多くの人に利用してもらう場所とする為に、広報を充実させ、外装の改装についても検討。		
		T - 13 各地での農産物を使ったイベントの開催	西神楽 夢民村 深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会	夢民村の収穫感謝祭 平成18年11月11日 秋の味覚市 平成18年10月8日 秋のとんとんまつり 平成18年9月16日～18日	大雪・富良野ルートの特産でもある、農産物を使ったイベントを各地で開催。味覚市では、約700人、とんとん祭りでは約7000人の人が訪れ、地域の農産物や特産品などを楽しんだ。			
	ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	T - 7 有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルートがルートの運営組織となる	有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルート	通年	平成18年4月21日に開催された、ルート運営代表者会議で運営組織の変更が承認され、中間法人がルートの運営を担うことになった。運営に必要な、必要経費の捻出が課題となっている。	地域農産物のブランド化を進め、付加価値をつける。また、農業と連携した新たな観光メニューの開発についても検討を行う。農地へはいる観光客等のマナーの向上を目指し、啓蒙活動を行う。		
観光振興 シニック・ランドオペレーション機能の充実	シニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	T - 8 情報拠点の設置及び運営	NPO法人グラウンドワーク西神楽 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 上富良野町商工会商業部会 富良野エコミュージアム	西神楽 平成18年10月14日～11月11日 北西の丘 平成18年4月28日～11月5日 その他、通年	情報拠点シャングリラパークと菊地晴夫写真ギャラリーがリニューアルオープン。その他、中茶屋やふらの広場についても、継続して実施。観光繁忙期には、パンフレットが不足していた箇所もあった。	地域住民及び自治体へのシニックバイウェイPR活動を継続する。大雪・富良野ルートとしての広報活動の戦略を考え、今ルートで持っている広報ツールの活用を検討する。		
	シニック情報中枢機能を充実させる	T - 7 有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルートがルートの運営組織となる	有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルート	通年	平成18年4月21日に開催された、ルート運営代表者会議で運営組織の変更が承認され、中間法人がルートの運営を担うことになった。運営に必要な、必要経費の捻出が課題となっている。			

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

- ・行政の事業に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 根守克己	報告年月:2007/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

基本方針	平成18年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括
73 大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ 波状丘陵地の田園景観を保全する 景観形成 花人街道としての景観を整える	合力ビューポイントパーキング整備	旭川開発建設部		中富良野町の合力にビューポイントパーキングを整備。来年度から、観光客等が利用出来るようになる。	観光客や道路利用者にPRし、多くの方に利用して頂く。
	島津ビューポイントパーキング、見晴台公園整備	旭川開発建設部、上富良野町	駐車場整備 平成17年度 公園整備 平成18年度	上富良野町の景観が良い島津地区に駐車場を整理。駐車場整備と合わせて、上富良野町が併設された公園を整備。	観光客や道路利用者にPRし、多くの方に利用して頂く。
	第3回シニックバイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテストへの協力及び広報	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成18年8月1日～10月31日作品募集	報道機関への投げ込み、各行政機関でのチラシ配布等により応募人数150名、応募総数451点の作品が集まり、前回よりも作品の質が高いものが多く集まった。入選作品に道の写真が少なかった。	前回より応募人数・応募総数が減ったが作品の質が高かった。入選作品については、今後の広報等で活用する。次年度以降も引き続き実施予定。
	ゴミゼロキャンペーンとしての沿道の清掃活動に参加及びゴミ収集に協力、当日必要な火ばさみなどの備品を貸し出し	旭川開発建設部、上川支庁、旭川土木現業所、上富良野町、旭川市	西神楽地区 平成18年4月30日 上富良野地区 平成18年5月30日	ゴミ拾いの参加者は、上富良野地区で約120名、西神楽地区で約40名と多くの方が参加した。	多くの方が参加したので、広範囲の清掃活動が実施できた。今後はルートとして活動を広げていくことを検討する。
	深山峠での景観勉強会開催の補助	旭川開発建設部・上富良野町	平成19年2月11日11:00～15:00	上富良野町が策定している、景観条例に関係して深山峠で景観重点地区指定に向けての勉強会、ワークショップを開催。当時は、約20名の地域住民が参加した。	ワークショップで話された内容を、さらに検討し、住民としての景観ルールや地域活動に役立てる。また、地域住民の景観意識の醸成を図る。
	占冠地区植栽整備	旭川開発建設部		景観を阻害する道路付属物の目隠し植栽を行ったことにより、将来的な景観向上が見込まれる。	樹木が成長することにより、効果が現れることから適正な維持管理に努める。
	ボランティアサポートプログラムによる、花植栽の支援	旭川開発建設部	平成18年6月	ボランティアサポートプログラムにより、花の苗代を深山峠とフラワーランド前及び富良野市街地生協から新空知橋間の植栽活動に支援	様々な場所で花が沿道を彩り、観光客や地元住民の目を楽しませた。今後も、継続して実施する。
	花の植栽への苗や堆肥の支援	上富良野町、東川町	平成18年6月	東川町では、沿道の花の植栽活動について、花の苗代など支援。上富良野町では、花の植栽に使う、堆肥を提供	様々な場所で花が沿道を彩り、観光客や地元住民の目を楽しませた。今後も、継続して実施する。

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 根守克己	報告年月:2007/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

基本方針	平成18年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括
マ 地域づくり	JRと国道の間の帰化植物撤去に関する調整及び活動への参加	旭川開発建設部	平成18年6月28日	地域活動団体によるJR敷地、国道敷地の帰化植物の除去活動を実施するにあたり、JR北海道との調整を行い、活動に参加した。当日は、約20名の方が参加し、2キロの草刈りを実施。今年度はJR側ののり面の除草が出来なかっただけでなく、JR側ののり面の除草も実施する。	今後も活動が継続される予定であり、除草区間の拡大とJR側ののり面の除草も実施する。
	道路景観診断等を実施し、地域の声を反映した、国道38号「大雪・富良野ルート景観形成マスタープラン」を作成	旭川開発建設部	通年	道路景観診断等により、地域活動団体や関係者の意見を取り入れた、景観形成マスタープランを作成。	策定した237号・38号のマスタープランをもとに景観改善・形成事業を計画する。
	道路景観診断・景観向上施策の評価懇談会 開催	旭川開発建設部、上富良野町、富良野市	富良野平成18年12月20日 上富良野平成19年2月26日	富良野市と上富良野町で道路の景観診断を実施。地域団体や自治体関係者が、道路景観診断に参加し、意見を交わした。	道路景観について、地域団体等の意見を集めることが出来た。意見は整理し、今後の事業等の参考とする。
マ コリドーとしての連携や参加意識の醸成	西神楽及び深山峠で、配布したニュースレターの内容調整及び印刷	旭川開発建設部、上富良野町	西神楽(11月・3月 配布) 深山峠(11月・12月・1月・2月・3月配布)	ニュースレターに記載されている内容について、内容調整し、各地区配布分を印刷。深山峠は50戸、西神楽は300戸の居住者全戸に配布した。	シニックバイウェイの認知度が少しずつ上がってきている。地域としては、今後も継続的に配布することを希望している。
	ウインターランチ 2007 in 大雪・富良野ルートでの雪のランドアート制作協力	上富良野町	平成19年2月17日、18日	上富良野、見晴台公園の会場では、ランドアート設置場所を提供。制作についても協力をした。 精度の高い雪のランドアートが出来、好評を得た。	冬の新たなイベントとして継続的に実施予定。活動資金の捻出のために企業への売り込みなど実施予定。
	ウインターランチと連携し、西神楽と上富良野にて、雪の授業を開催。	旭川開発建設部、聖和小学校、上富良野町教育委員会	西神楽 平成19年2月9日 上富良野 平成19年2月17日	西神楽では、聖和小学校と連携し、「雪」に関する授業と雪の結晶を使ったアートワークを行った。 上富良野では、教育委員会と連携し、全町の小学校に呼びかけ、雪の課外授業を実施。	子供からは雪の授業は、好評であった。シニックバイウェイとしても、教育との連携実績を積み上げる。
マ 地域づくり	西神楽及び深山峠で、配布したニュースレターの内容調整及び印刷	旭川開発建設部、上富良野町	西神楽(11月・3月 配布) 深山峠(11月・12月・1月・2月・3月 配布)	ニュースレターに記載されている内容について、内容調整し、各地区配布分を印刷。深山峠は50戸、西神楽は300戸の居住者全戸に配布した。	シニックバイウェイの認知度が少しずつ上がってきている。地域としては、今後も継続的に配布することを希望している。
	シニックバイウェイフォトコンテストパネル展の実施場所を提供	旭川開発建設部	平成18年12月22日～平成19年1月12日	ルートPR及びフォトコンテストのPRを目的に、旭川開発建設部1階ホールで平成17年フォトコンテスト入選作品パネル展を実施。	パネル展を実施することで、様々な方にルートのPR及びフォトコンテストのPRが出来た。
	景観に関するイメージ調査及びアンケート協力	旭川開発建設部、東神楽町、南富良野町、占冠村	通年 アンケートは、3月	ルートの色に関する調査を実施。通年で定点観測や移動観測をおこなった。地域やルートに対してのイメージ調査を行うにあたって、地域団体が少ない地域やいいない地域は、行政が地域イメージについてのアンケートに協力。	地域のイメージやルートのイメージを調査し、今後の地域活動の材料とする。

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 根守克己	報告年月:2007/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

	基本方針	平成18年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり		各自治体の支援メニュー や プログラムについてアンケート実施。	旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村		関係行政組織、52部署に対して、行政連携に関する現況と今後の見通し、問題点などについてアンケート調査を実施。	活動団体と行政が連携した、景観づくり・地域づくりに関する活動の検討を行う。
		シニックバイウェイ北海道全道フォーラムへの協力・参加	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、美瑛町、上富良野町、富良野市	平成18年5月19日、20日、21日	全国からシニックバイウェイに関わる人がフォーラムに参加するために、大雪・富良野ルートの訪れた。	大雪・富良野ルートの魅力を、PRできる機会となった。地域団体が協力した、テクニカルツアーも好評であった。
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	ウインターランス 2007 in 大雪・富良野ルートでの、プロジェクトの貸し出し及び沿道の除雪等	旭川開発建設部	平成19年2月17日、18日	ウインターランスで使用する、プロジェクターを貸し出し。雪のランドアートに映し出される、映像が好評であった。国道からの眺望を確保するために、沿道の雪を除雪することで、道路利用者へアピールが出来た。	冬の新たなイベントとして継続的に実施予定。活動資金の捻出のために企業への売り込みなど実施予定。
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	歴史的景観資源調査	旭川開発建設部	平成18年度	ルートの魅力づけを図ることを目指して、大雪・富良野ルートの歴史的景観資源を実施。歴史の観点で、ルートストーリーに厚みもたせる為の資料とし、今後の活動を検討する際の資料とする。	ルートストーリーへの反映や今後の地域活動をさらに検討し、ルートの魅力向上を目指す。また、歴史的景観資源の保全や活用についても検討する。
	ユニバーサルデザインの推進					
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実					
	農業と連携した観光のしくみづくり	地域協働プロジェクトとして、西神楽の産直会場に西神楽除雪ステーションを提供	旭川開発建設		国道に面した施設であり、道路利用者には好評だった。	地域の農産物を道路利用者へ効果的にPRすることができ、好評であった。
	シニック・ランドオペレーション機能の充実	道路情報板を活用した、「シニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート」のPR	旭川開発建設部、旭川土木現業所	通年	国道237号及び道道の道路情報板を活用し、道路利用者に対し「シニックバイウェイ 大雪・富良野ルート」をPRすることが出来た。	道路情報板でのルートPRは地域活動団体にも好評であり、通行する全ての道路利用者にPRする事が出来たため、ルート名称の認知度が向上した。
		地域FMを活用した、「シニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート」のPR	旭川開発建設部	通年	地域FM(旭川・富良野)を活用し、シニックバイウェイ北海道及びトレジャーハントのPRを行い、広く広報することが出来た。	今後も地域FMや地元紙等の有効な活用方法を検討し、広報に勤める必要がある。
	シニックバイウェイの活動に関し、報道機関への投げ込みを実施		旭川開発建設部	通年	地域の活動に関し、報道機関への情報提供を通じ、新聞記事掲載を促した。「ゴミゼロ(清掃活動)キャンペーン」や各種イベントが新聞に掲載された。	新聞記事に取り上げられることにより、「大雪・富良野ルート」の活動を広報することができ、活動団体のモチベーション向上にも繋がった。

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 根守克己	報告年月:2007/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

基本方針	平成18年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興 シニック・ランドオペレーション機能の充実	地域情報誌への特集記事掲載による、ルート及びシニックバイウェイ北海道の広報・PR活動	旭川開発建設部	平成18年7月号	上川地域の情報誌「メディア旭川」に、シニックバイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」の特集記事を展開し、ルート及びシニックバイウェイ北海道に関する広報・PRを実施した。	シニックバイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」について、理解してもらうことが出来た。今後も、電波・電子・紙等の各種広報媒体の活用を検討し、効果的な広報・PRに努める。
	道の日パネル展における、シニックバイウェイのPR	旭川開発建設部、旭川土木現業所、旭川市	平成18年8月10日	道の日パネル展において、シニックバイウェイのパネルも展示したことにより、広く市民に対しシニックバイウェイ北海道及び大雪・富良野ルートのPRすることが出来た。	パネル展に併せ、シニックバイウェイの認知度を調査するため、アンケート調査を行ったが、まだまだ認知度が低いため、次年度以降も継続してPRしていく。
	ウインターサーカス 2007 in 大雪・富良野ルートでのチラシ・ポスターの印刷、配布	旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成19年2月17日、18日	ウインターサーカスをPRする為のポスターやチラシを印刷。各関係機関、地域団体や道の駅に配布した。チラシやポスターの広報活動により、多くの方が訪れた。	冬の新たなイベントとして継続的に実施予定。活動資金の捻出方策などを検討していく。
	2007 ふらの・びえい人になるキャンペーンでのパスポート・ポスターの配布	旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成19年2月	ふらの・びえい人をPRする為のパスポートやポスターを各関係機関、地域団体、道の駅に配布した。パスポートやポスターの広報活動により、多くの方が訪れた。	今後の継続や活動資金の捻出について検討していく。
	情報拠点で配布するパンフレットの	旭川開発建設部	通年	人気のある「道の駅マップ」等のパンフレットを情報拠点配布用に提供。各種パンフレットを設置することで、情報拠点としての必要な情報提供を行うことが出来た。	使いやすいマップ等を提供することで、情報拠点の内容が充実した。今後も、情報拠点は各地で実施予定。
	ルート運営代表者会議等に出席し、様々な情報を活動団体に提供	旭川開発建設部	通年	各会議で地域活動団体に、行政機関から情報提供を行った。	地域への情報提供は、代表者会議等への出席のほか、メーリングリストでも実施だ。
	支援センターで発行した情報誌(SCENE)を地域に配布	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	通年	支援センターで発行している情報紙を各市町村及び道の駅、各活動団体に配布。	配布箇所の検討を行い、さらに効果的な広報に努める。
	大雪・富良野ルートホームページへのリンク	旭川開発建設部、上川支庁、旭川市、東川町、東神楽町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	通年	シニックバイウェイの広報の為に、大雪・富良野ルートのホームページやシニックバイウェイのホームページへのリンクを掲載した。	シニックバイウェイや大雪・富良野ルートの認知度向上の為に、今後も継続的に実施する。

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・大雪・富良野ルート

4. 審査委員会意見に関する報告

・大雪・富良野ルート

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵、ルート運営行政連絡会議 報告年月:2007/3/31
-----------------	---

	審査委員会からの意見	大雪・富良野ルート運営代表者会議の報告	大雪・富良野ルート行政連絡会議の報告	備考
シーニック バイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	ルートで設立した有限責任中間法人シーニックバイウェイ大雪・富良野ルートがルート運営組織となり、コミュニティビジネスの検討を実施。また、ニュースレターの配布や看板撤去事例を整理した。	地域で実施した景観に関する活動を西神楽地区と深山峠地区で配布したニュースレターに掲載し、地域住民にPRした。	
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	ルートで有限責任中間法人を設立し、ルート運営組織を変更した。	各自治体の支援メニューとプログラムについて、各行政担当窓口にアンケート実施し、整理した。	
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	ウインターランス2007 in 大雪・富良野ルートにて、冬の資源である雪を活用したランドアートをルート内5箇所し、イベント開催した。	ウインターランス2007 in 大雪・富良野ルートにて、沿道の除雪や雪に関する授業の開催、広報の協力など実施。	
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	シーニックコンシェルジェの検討として、大雪・富良野ルートにおけるコンシェルジェを検討した。		
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	ルートで統一されたパンフレットをプロジェクトチームが検討。平成19年のゴールデンウィークを目指して制作中	道の駅や各市町村で「SCENE」等広報誌を配布	
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	ルートで有限責任中間法人を設立し、ルートの運営を担うにあたり、運営委員会のや分科会を見直し、ルート運営組織を変更した。	西神楽地区と深山峠地区にて、シーニックバイウェイに関するニュースレターを地域団体と協同して制作及び配布。また、深山峠地区では上富良野町もニュースレターに協力。	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	「ウインターランス2007 in 大雪・富良野ルート」や2月中旬に開催した「ふらの・びえい人になるキャンペーン」にて実施。		

大雪・富良野ルート	TVやCMでの知名度と自然、農業等の地域固有の資源との調和が必要である。	ルートで統一されたパンフレットをプロジェクトチームが検討。平成19年のゴールデンウィークを目指して制作中	地域情報誌への特集記事掲載による、ルート及びシニックバイウェイ北海道の広報・PR活動を実施	
	地域住民、コミュニティ、多種多様な主体の参加・協働を一層進めるとともに、広域的な連携を行い、特に市街地部、屋外広告物等の景観の改善や自然との調和、郊外部と市街地との連携、視点場の設定と演出等に取り組んでいく必要である。	ジェットコースターの路へのシニックデッキ設置や深山峠での景観勉強会にて実施。また、ゴミゼロキャンペーン等では、地域住民と一緒に活動を実施した。	西神楽地区と深山峠地区にて、シニックバイウェイに関するニュースレターを地域団体と協同して制作及び配布。また、深山峠地区では上富良野町もニュースレターに協力。また、各自治体ホームページ等からルートホームページへリンクを掲載。	
	「花人街道」の取り組みの成果と評価を行い、その知見を今後の活動計画に反映されたい。	深山峠での景観勉強会では、地域における景観ルールを検討。また、景観モデル地区として、西神楽と深山峠が活動を実施。	国道38号に関する景観形成マスターplanを策定 旭川市や東川町、美瑛町、上富良野町では景観法に関わる計画・条例を策定中	
	本地域の特色ある自然・歴史・文化・地域の生活等を生かしつつ、主要産業である農業と連携した新たなツーリズムの取り組みについても検討されたい。	西神楽の情報拠点は、地元農業団体である夢民村が運営し、地元農産物の産直を実施。	地域情報拠点の情報提供ツールとして、観光等の各種パンフレットを提供	

5. 平成17年度活動報告への助言に対する状況報告

・大雪・富良野ルート

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2007/3/31
-----------------	------------------------	----------------

平成17年度活動報告への助言	平成18年度 状況報告	備考
助言 1	<p>①ルート運営活動計画の変更点 平成16年度に策定した、ルート運営活動計画について、現状と整合性がとれていない部分については、平成19年度を通して変更する。</p> <p>平成16年度に策定した、ルート運営活動計画については、下記について変更が必要となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画団体の増加 後藤純男美術館、大雪山自然学校(NPO法人ねおす)、西神楽夢民村が平成18年度より新規に参画した。また、ルート運営活動計画に記載されている、既存団体の活動内容についても現状に沿った内容へと変更が必要である。(現在の参加団体 19団体) ・運営組織の変更 平成17年度までは、運営委員会がルート運営を担ってきた。平成18年3月31日に有限責任中間法人シーニックバイウェイ大雪・富良野ルートが設立し、平成18年4月21日のルート運営代表者会議にて、運営委員会は解散し、有限責任中間法人シーニックバイウェイ大雪・富良野ルートが運営委員会の役割を担い、ルートの運営を行うことになった。 ・分科会の解散 平成17年度までは、活動団体が連携して組織した分科会方式で活動を実施してきた。平成18年度からは、地域での合意形成をスムーズに行うために、各地域で会議を持ち、合意形成を実施する形となつた。連携で実施する場合は、プロジェクトとして活動を実施することとした。 	<p>組織図 変更案</p> <pre> graph TD A[ルート運営代表者会議] --- B[有限責任中間法人 シニックバイウェイ 大雪・富良野ルート] B --- C[（カリ名川花） 名川花検討会 中] B --- D[237花俱楽部] B --- E[富良野俱楽部] C --- F[活動団体連携プロジェクト] D --- F E --- F </pre> <p>●ルート運営代表者の事務を掌握し、ルート運営活動計画を推進するために必要な企画調整を行う。 ●ルート運営活動計画を推進する為に必要な、委託や助成を行なう。</p> <p>●地区的事を管掌し、地区での活動に必要な企画・提案・調整を行う。 ●地区で活動する上で必要なコーディネートを行う。 ●地域の合意形成を取る。</p> <p>活動の企画・提案や実施を行う。</p>
助言 2	<p>②基幹となる道路に、地域住民、旅行客が共有できるような分かりやすい名称の検討が必要</p> <p>・今年度はルートの特徴的な道路の名称の整理を行った。また、現在、制作を進めているルートパンフレットのマップに、特徴的な道路の名称を記載する。</p>	